

1. 職名・氏名 教授 池下 譲治2. 学位 学位 経営学修士 (MBA)、専門分野 グローバル経営・マーケティング、アジア・ASEAN 経済、授与機関 University of Strathclyde (UK)、授与年月 2000年7月7日

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 グローバル経営戦略論（2）2018年後期（大学院） 経済学特講C「アジアの経済発展と福井」（2）2019年後期（経済学部経済学科、経営学科）
② 内容・ねらい（自由記述） 【グローバル経営戦略論】 グローバル化、地域統合、アウトソーシング、保護主義の台頭など、世界の貿易・投資に関する国際経済の潮流を理解し、各種理論だけでなく実態をもとにグローバル企業が果たす役割や課題について考える。授業を通じて、①世界の国々がなぜ、どのように異なっているのか、②国際貿易と国際投資に関する政治・経済学、③グローバルな通貨制度の機能と形態、④グローバル企業の戦略と構造、⑤グローバル企業内のさまざまな機能に特有の役割、という5点を理解、検討し説明できるようになることを目指す。 【経済学特講C「アジアの経済発展と福井」】 授業概要：アジアにおける経済発展の現状と各国の経済開発政策の展開、及び日本の対応を解説する。また、福井県企業の海外展開を中心に、アジアと福井の経済的なつながりについても紹介する。本講義は学内外の専門家を招き、オムニバス形式で行われる。 授業目標：アジアを中心に国際経済への理解を深め、現状を把握し、様々な経済問題を見る目を養うこと。そして、海外との結びつきを踏まえて、日本および福井の将来について考えられるようになることが、この授業の目標である。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 1. 経済学特講Cでは、履修者が約400名に上ったことから、授業効率を高めるべく、携帯用アプリを取り入れ、授業中に同アプリによる講師への質問を受け付けるようにした。さらに、特に、鋭い質問をした学生には成績面でも加点するなど学生の講義への参加意欲を高めるような工夫を凝らした。 2. パワーポイントによるスクリーン投影のほか、同資料をはじめ関連資料をハンドアウトすることで、ポイントの整理とより深い理解への支援を行っている。 3. 事例紹介やケーススタディを多く取り入れ、臨場感のある双方向的な授業を心がけた。 4. グローバル経営戦略論では、一人ひとりの関心の度合いや理解度を随時、チェックするなど、少人数ならではの丁寧な授業を心がけた。
(2)非常勤講師担当科目
①担当科目名（単位数） 開講学校名
②内容・ねらい（自由記述）
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
④本学における業務との関連性（自由記述）

(3)その他の教育活動

内容

・福井県立大学海外インターンシップ研修事業に際して、2017年以降、指導教官として毎年引率している。2017年度（2017年9月3日～10日）は9名が参加。訪問国であるタイ、ベトナムに於いて福井県からの進出企業などを訪問した。

2018年度（2018年8月26日～9月2日）は14名が参加。訪問国であるタイ、マレーシアに於いて、福井県からの進出企業などを訪問した。

2019年度（2019年9月1日～8日）は9名が参加。訪問国であるシンガポール、マレーシア、ベトナムに於いて、福井県からの進出企業等を訪問した。

・福井県グローバル人材育成事業地域コーディネーターとして、平成29年度トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム地域人材コース事前講義を実施（2017年7月19日）

・福井県高志高校「スーパーグローバルハイスクール（SGH）」出張授業・指導（2018年9月14日、21日）

・台湾への出張中、国立台中科技大学の教授および学生10数名の依頼に応じて、福井の産業に対する講義と意見交換を行った（教授言語は英語、2017年9月22日）

4. 研究業績

(1)研究業績の公表

① 論文

（タイトル、共著者の有無（共著の場合は主たる担当箇所について）、掲載雑誌名（号数）、掲載（受理）年月日）

・「アジア経済の今（仮題）」福井県立大学地域経済研究所『ふくい地域経済研究』第30号（2020年3月発行予定）（単著）

・「外国人材の新たな可能性に向けての様相～VUCAの時代と途上国との互惠ビジネス」国際貿易投資研究所『途上国との互惠ビジネス（仮題）』第6章（2020年3月発行予定）（単著）

・「北陸における企業と外国人材のミスマッチ」北陸AJEC・ジェトロ『北陸企業の外国人材の採用・活用』（pp61～80）（2019年3月）（単著）

・「グローバル化における地域・企業の戦略としてみた場合の途上国との互惠ビジネス」国際貿易投資研究所『ITI調査研究シリーズ No.83』（2019年2月）（単著）

・「マハティールの夢～マレーシアにおけるパラダイム・シフトとブミプトラ政策のゆくえ～」福井県立大学地域経済研究所『ふくい地域経済研究』第27号（2018年10月）（単著）

・「ソーシャル・キャピタルと持続可能な地域社会に向けての一考察」、ふくい地域経済研究第26号（2018年3月）（単著）

② 著書

（タイトル、共著者の有無（共著の場合は主たる担当箇所または担当ページ）、出版年、出版社名）

過去3年間については該当なし。以下は参考情報として記載。

・「展示会活用マーケティング戦略」共著（POP 2006年）pp52～122

・「メイド・イン・チャイナの衝撃」共著（ジェトロ 2001年）pp35～51

・「アジアの構造変革はどこまで進んだか」共著（ジェトロ 2000年）pp203～219

・「アジア経済再生」共著（ジェトロ「1999年」）pp.270～291

・「一目でわかる『アジアの財閥と業界地図』」共著（日本実業出版社 1996年）pp.114～137

③ 学会報告等

（タイトル、報告学会（大会）名（開催年月日）、共同報告者の有無（共同報告の場合は主たる担当箇所））

④ その他の公表実績

『世界経済評論インパクト』（世界経済評論）への寄稿

- ・「動き出した国際ビジネスの規制に企業はどう対応すべきか」（2019年12月）
- ・「グローバル化は次の段階へ」（2019年9月）
- ・「米中貿易戦争の行方」（2019年5月）
- ・「TPP『労働』章への期待と対応が迫られる日系企業」（2018年11月）
- ・「マレーシアにおけるパラダイム・シフトの行方」（2018年8月）
- ・「TPP11参加にみるマレーシアの思惑とジレンマ」（2018年4月）

『Warm Topic』（北陸AJEC）への寄稿

- ・「多様性と連結性から見たマレーシア」（2018年3月/4月号）

『Fukugin Journal』への寄稿

- ・「2020世界経済見通し」（2020新春号）
- ・「世界経済見通し」（2019桜花号）

『地域経済研究所 e-メールマガジン』への寄稿

- ・「米中貿易戦争の正当性と日本企業への影響と対策に向けて」2019年7月1日発行
- ・「国際ビジネスの倫理的課題からみた TPP の意義」2018年12月3日発行
- ・「2018 総選挙で見てきたマレーシアにおけるパラダイム・シフト」2018年5月31日発行
- ・「日本および福井のインバウンド戦略に欠けているもの」2017年12月28日発行
- ・「国際標準化戦略で日本再生を」2017年6月30日発行

(2)学会活動等

学会でのコメンテーター、司会活動（担当報告名、担当学会（大会）名（開催年月日））

学会での役職など（学会名）

特になし（参加学会名：アジア政経学会、アジア経営学会、アジア市場経済学会）

学会・分科会の開催運営（担当学会（大会）名（開催年月日）、開催場所）

(3)研究会活動等

① その他の研究活動参加（参加研究会名、調査活動名（期間））

- ・北陸AJEC・ジェトロ「北陸企業の外国人材の採用・活用」共同調査会（2018年4月～2019年3月）
- ・国際貿易投資研究所（ITI）客員研究員（2017年7月～現在）
- ・国際貿易投資研究所（ITI）「途上国との互惠ビジネス」研究会（2019年4月～現在）
- ・同 「途上国との互惠ビジネスモデル」研究会（2018年4月～2019年3月）
- ・同 「リエコノミーモデル」研究会（2017年7月～2018年3月）
- ・同 国際貿易投資研究会（2017年7月～現在）
- ・国際機関日本ASEANセンター「ASEAN研究会」会員（2017年12月～現在）

② その活動による成果

【研究報告書の発行】

- ・『途上国との互惠ビジネス（仮題）』国際貿易投資研究所（2020年3月発行予定）
- ・『北陸企業の外国人材の採用・活用』北陸AJEC・ジェトロ（2019年3月）
- ・『日本の地域活性化を促す途上国との互惠ビジネス開発』国際貿易投資研究所（2019年2月）

【セミナーの開催】

- ・「高度外国人材採用・活用」セミナー、福井商工会議所2階A会議室、2019年12月20日
- ・「北陸企業の外国人材の採用・活用」セミナー、金沢ニューグランドホテル、2019年3月26日
- ・「途上国との互惠ビジネス開発による地域経済の発展」セミナー、福井市地域交流プラザ（アオッサ6F）、2019年2月28日

(4)外部資金・競争的資金獲得実績
平成30年度 福井銀行奨学金 研究課題「福井県ものづくり産業における外国人材採用・活用の現状と課題」 研究経費 40万円
(5)特許出願

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
<p>① 国・地方公共団体等の委員会・審議会（それぞれの名称、業務内容、担当期間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県 地域グローバル人材育成事業地域コーディネーター（2017年6月～2018年3月） ・消防庁指定専門家として、マレーシアテクニカルミーティングに参加（予定）、於：クアラルンプール（2018年2月～2019年3月） ・ふくい貿易促進機構 事業推進チーム（2017年7月～現在） ・福井商工会議所 国際ビジネス委員会（2017年7月～現在） ・鯖江商工会議所 国際化委員会（2017年7月～現在） ・ジェトロ「中小企業・小規模事業者海外展開支援事業（海外輸出に係る認証取得支援事業）」（経済産業省受託事業）審査員、同事業の委託先公募に関する審査会での審査業務（2017年7月4日） <p>（以下は参考まで）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マレーシア日本人商工会議所参与（同理事会、各委員会および各部会への参加および助言、マレーシア貿易産業大臣とのダイアログでのプレゼンなど）（2010年～2014年） ・マレーシア日本人商工会議所調査委員長（マレーシア日系進出企業約1200社への景気動向・経営状況等に関するアンケート調査の実施、JACTIM 投資環境調査視察団の団長としての役割等）（2010年～2014年） ・クアラルンプール日本人会理事（理事会への出席、各種行事の立案など）（2010年～2014年） ・クアラルンプール日本人会福利厚生委員長（2014年） ・『2014 マレーシアハンドブック』マレーシア日本人商工会議所、編集委員長（2013年～2014年）
<p>② 国・地方公共団体等の調査受託等（それぞれの名称、業務内容、活動期間）</p> <p>（以下は参考のみ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済産業省受託「新興国における基準・認証に関わる規制動向等に関する調査」、（ASEANにおける医療機器の規制および標準化の動向について）2015年12月～2016年3月
③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加（それぞれの名称と活動内容、活動期間）
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動（企業名、活動内容、活動期間）
<p>⑤ 大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等（事業名称及び主催・共催者名、活動内容、活動期間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「途上国との互惠ビジネス開発による地域経済の発展」セミナー（主催：国際貿易投資研究所 共催：福井県立大学、於福井市地域交流プラザ（アオッサ6F）、2019年2月28日 ・県内大学連携研究推進事業「福井県企業の英語による国際的情報発信力向上とグローバル人材育成支援」主催：福井工業高等専門学校、セミナーおよび調査統括、2017年度
<p>⑥ その他（講演等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海外展開の進め方」主催：AOTS・JETRO、於AOTS研修センター（東京）、2017年8月11日

- ・「消防用機器等のマレーシア市場への参入戦略」消防庁主催『マレーシア概況に係る研修会』、於合同庁舎（東京霞が関）、2017年9月27日
- ・「マレーシアの一般経済概況と日系企業の動向」主催：福井県経営者協会、於福井商工会議所、2018年1月16日
- ・「海外展開におけるビジネスパートナーのつながり」消防庁主催『第5回消防用機器等の海外展開の推進に向けた懇談会』於合同庁舎（東京霞が関）、2018年3月20日
- ・「マレーシアにおけるビジネス機会セミナー」（ダレル・レイキン マレーシア国際通商産業大臣参加）におけるモデレーター、主催：マレーシア政府（於：大阪帝国ホテル）、2018年10月17日（使用言語：英語）
- ・「インドネシアの一般経済概況と日系企業の動向」主催：福井県経営者協会、於福井商工会議所、2019年2月1日
- ・「途上国との互惠ビジネス開発による地域経済の発展」セミナー、主催：国際貿易投資研究所 共催：福井県立大学、於福井市地域交流プラザ（アオッサ6F）、2019年2月28日
- ・「ニュージーランドの観光開発・戦略に学ぶ～日本および福井のインバウンド戦略に欠けているもの」主催：福井財務事務所、於福井春山合同庁舎、2019年5月28日
- ・「マレーシアにおけるビジネス機会セミナー」（ダレル・レイキン マレーシア国際通商産業大臣参加）におけるモデレーター、主催：マレーシア政府（於：ホテルオークラ神戸）、2019年11月29日（使用言語：英語）
- ・「ベトナムの一般経済概況と日系企業の動向」主催：福井県経営者協会、於福井商工会議所、2020年1月22日

(2)大学が主体となっている地域貢献活動等

① 公開講座・オープンカレッジの開講（タイトル名、開催場所、開催日時）

『アジアの経済発展と福井』2019年度後期公開講座（経済学特講C・経営学特講C公開）

第1回「なぜ、アジア経済を学ぶのか」、福井県立大学永平寺キャンパス、2019年10月2日

第2回「多様性の中で統合に成功したASEAN」、同講堂、同上

第3回「メコン川流域開発」、同10月16日

第4回「ベトナム最新経済事情と日系企業動向」、同上

第5回「多様性と連結性から見たマレーシアの課題と可能性」、同11月6日

第6回「アジアの経済開発と環境保護」、同上

第7回「一帯一路構想と日中企業の第3国協力」、同11月20日

第8回「ラオスの経済発展について考える」、同上

第9回「実践からの海外事業における要諦」、同12月4日

第10回「カンボジアのこれからと、わが社の事業展望」、同上

第11回「グローバル時代に自分を生かす働き方」、同12月11日

第12回「第一織物のアジア事業展開」、同12月18日

第13回「誰も気づいていない福井のポテンシャル」、同上

第14回「前田工織の海外事業展開」、同講堂、2020年1月8日

第15回「フクビ Global One 戦略」、同上

② 社会人・高校生向けの講座（タイトル名、開催場所、開催日時）

『アジア経済フォーラム』（地域経済研究所主催）の開催

第33回「多様性と連結性からみたマレーシアの可能性」、福井県立大学地域経済研究所、2018年3月9日

第34回「中国「新時代」におけるビジネスチャンスを探る」、同6月28日

第35回「カンボジアのビジネス環境とこれからの可能性」、同8月6日

第36回「日本企業のベトナム事業展開とビジネス環境」、同10月19日

第37回「2018年ジェトロ世界貿易投資報告」、同11月30日

第 38 回「途上国との互惠ビジネス開発による地域経済の発展」、福井市地域交流プラザ、2019 年 2 月 28 日

第 39 回「米中貿易戦争と世界経済、地域経済研究所、2019 年 3 月 28 日

第 40 回「中国の経済情勢と対中ビジネスの新潮流」、同 8 月 2 日

第 41 回「拡大する保護主義とアジアの経済統合」、同 10 月 3 日

第 42 回「メコン地域の陸路物流事情」、同 10 月 17 日

第 43 回「一带一路構想と日中企業の第 3 国協力」、同 11 月 21 日

『高志高校 SGH 連携授業』での講演

第 1 回「国際ビジネスで日本経済を元気にしよう！Part1」、高志高校、2018 年 9 月 14 日

第 2 回「国際ビジネスで日本経済を元気にしよう！Part2」、高志高校、2018 年 9 月 21 日

③ その他（名称、活動場所、活動期間）

・アジア塾インドネシア視察ミッション派遣事業、ジャカルタ、2017 年 7 月 29 日～8 月 3 日
・アジア要人招聘事業（ベトナム政府高官と福井県経済界の経済交流）、2017 年 10 月 19 日～20 日

・台湾企業との商談会（福井商工会議所主催：台北、台中、台南）2017 年 9 月 19 日～23 日

・FBC ラジオ「ようこそ県大研究室」出演（2017 年 11 月 11 日放送）

・FBC ラジオ「ようこそ県立大学へ」出演（2018 年 9 月 22 日放送）

(3) その他（個人の資格で参加している社会活動等）

（活動内容、主たる活動場所、活動期間）

6. 大学の管理・運営

(1) 役職（副学長、部局長、学科長）

（職名、期間）

(2) 委員会・チーム活動

（名称、期間）

福井県立大学職場委員会（2017 年 9 月～2019 年 3 月）

福井県立大学教育研究委員会（2018 年 4 月～現在）

(3) 学内行事への参加

（行事名、参加日時）

・福井県立大学創立 25 周年記念教職員 BBQ 大会（2017 年 5 月 31 日）

・大学センター試験監督（2018 年 1 月 14 日、2020 年 1 月 18 日）

・一般選抜試験監督（2019 年 2 月 25 日、2020 年 2 月 25 日）

(4) その他、自発的活動など

（活動名、活動内容、活動期間）